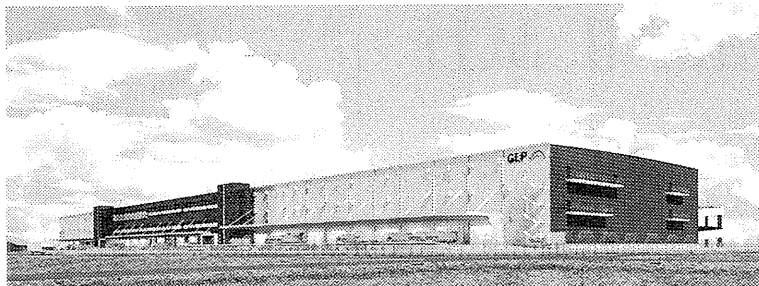


茨城県内最大の賃貸面積

マルチテナント型物流施設 設計施工＝JFEシビル



完成予想

延14万²m²、GLP五霞が起工

グローバル・ロジスティック
プロパティーズ(GLP)が

茨城県五霞町に計画しているマ
ルチテナント型物流施設「GL
P五霞」の建設地で7日、起工

月の完成を目指す。
起工式に先立つ記者会見で帖
佐社長は、「圏央道沿いの開発

で働き、住み、子育てもしてほ
しい」と期待を寄せた。
神事では鍬(くわ)入れを帖
佐社長、鋤(すき)入れを藤井
社長が行った。両氏を始め染谷
町長、小林勤エム・ケー代表取
締役らが玉ぐしをささげた。

式が開かれた。首都圏中央連絡
自動車道(圏央道)五霞IC近
くに「茨城で最大の賃貸面積を
持つ」(帖佐義之GLP社長)
物流施設を建設する。JFEシ

は西南部に多いが、北東部にも
ぜひ1棟ほしいと思っていた。
五霞町は東京都心から1時間か
からず、新4号国道ができれば
広域配送も実現できるなど北関
東の利便性も高まり、魅力があ
る場所だ」と語った。

規模はS造3階建て延べ約14
万平方メートル、茨城県内初の開発
プロジェクトとなる。ダブルラ
ンプウエーで各階に直接アクセ
スでき、BCP(事業継続計画)
対策として軽油備蓄タンクを設
置する。厨房機能付きカフェテ
リアや米国製超大型シーリング
ファンなども導入する。



鍬入れの帖佐社長



鋤入れの藤井社長

「二重鋼管を使った自社の制震
ブレースによる制震構造を採用
させていただいた。従来の耐震
構造に比べコストと設計期間が
あまり変わらない中、耐震性が
大きく向上する手法を用いたの
が特徴だ」と述べた。

染谷森雄五霞町長は、五霞I
C周辺の企業誘致を進めてきた
ことに触れ、「若い人に五霞町

村松徹所長(JFEシビル)の話
「近隣に小学校が
あり、第三者被害を
出さないよう無事故
・無災害で完成させ
たい」